

## 只見町の春を感じる

### ブナセンター自然観察会「春の花観察会」開催

只見町ブナセンター主催の「春の花観察会」が、4月29日に開かれました。

観察会が行われた深沢集落近辺の森林では、カタクリやキクザキイチゲ、コシノコバイモなどの春植物が花を咲かせ、参加者は只見町の春植物をじっくりと観察しました。また、ナラ類の二次林の林床では、紙谷館長の解説で樹木の開葉と春植物の関係などについて学びました。

他にもサシバやニホンアマガエルなど多くの生き物を観察することができ、只見町の自然に対する理解を深めました。



▲紙谷館長から解説を聞く参加者

## 新緑のブナ林で学ぶ

### ブナセンター自然観察会「新緑のブナ林観察会」開催



▲参加者が観察した原生林に近いブナ林

毎年恒例となっている「新緑のブナ林観察会」が、4月30日に癒しの森で開かれました。

今年は、通常の散策路が、ナラ枯れにより枯死した大木が多く危険なため、迂回路を進んで目的のブナ林まで進みました。

参加者は、人の手が入っていない原生林に近い自然林と、伐採後に再生した二次林を観察し、折り返し地点の戸板山眺めからの雄大な景色を楽しみました。また、当日の午前中に雨が降っていたため、タゴガエルやキセルガイ類などの湿った環境を好む生物も見られ、様々な自然環境を学びました。

## ブナ林研究の専門家に聞く

### ブナセンター講座「ブナ林を研究するおもしろさ」開催

森林研究・整備機構理事長の中静透氏を講師に、講演会「ブナ林を研究するおもしろさ」が、4月30日に只見公民館で開かれ、町内外から約40人が聴講に訪れました。

中静氏は、戦後の二次林の成り立ちや、ササや動物との関係、また温暖化がブナ林に与える影響などについて、長年にわたる調査の結果を基に、自身の調査中の様々なエピソードを交えながら、解説しました。

聴講後の質疑応答では、ブナ林生態研究の第一人者からお話しが聴ける貴重な機会ということもあり、多くの質問が寄せられ、大盛況の中講座が終了しました。



▲自身の経験を交えながら、お話しをされた中静氏

## 只見線利用促進等事業補助金を活用

# 只見保育所 遠足でJR只見線に乗車

只見保育所は、5月19日にJR只見線を利用し、魚沼市子育ての駅「かたくり」へ遠足に行きました。遠足には、たんぽぽ組、ひまわり組、さくら組の子どもたちとその保護者21組が参加しました。

当日は、会津坂下駅の藺田駅長がお見送りに駆けつけました。他にも車掌の帽子を貸していただくなど車両内でも楽しめた遠足となりました。

なお、この遠足には、只見線利用促進等事業補助金を使用しています。



▲只見駅前で記念撮影をした参加した保育園児と保護者の皆さん

## ○只見線利用促進等事業補助金

只見線を利用した旅行や駅周辺の景観整備に「只見線利用促進等事業補助金」がご利用いただけます。なお、詳細は交流推進課までお問い合わせください。

### 【補助対象者】

町民が3人以上で構成するグループ

### 【補助金額】

上限10万円

### 【問合せ先】

交流推進課 電話：82-5220

### 【補助経費例】

事業例	経費例
只見線を利用した旅行	参加者の只見線列車運賃 印刷代 施設入場料 等
駅前の除雪、 駅周辺の環境美化活動の実施	ゴミ袋、軍手等の消耗品 花の種、苗木等 燃料費(草刈機、除雪機等)等
駅前を利用したイベントの開催	スタッフ賃金等 ポスター・チラシ等作成費 印刷代 燃料代 施設借上料
只見線関連商品の開発	広告料 原材料費 等

## 親子で楽しい時間を過ごす

# 第1回「かるがもクラブ」開催

今年度第1回目の「かるがもクラブ」が、5月19日に保健福祉センター保健室で開かれ、7組の親子が参加しました。

始めに開講式が行われ、吉津保健福祉課長が「育児に忙しい時期ですが、あっという間に過ぎてしまう時間でもあります。かるがもクラブやあそびの教室を利用して、親子で楽しく過ごしてください」とあいさつしました。

また、今回はダンボールのバスに乗って風船を取りに行く風船遊びなどをしながら、親子の時間を楽しみました。



▲開催日は随時おしらせばんでもご連絡いたしますので、今年度もたくさんのご参加お待ちしております。



## 友達と全力でぶつかり合いました 町内小学校運動会

町内各小学校で運動会が行われました。(明和小：5月13日、只見小・朝日小：5月20日)

今年は来賓の方などの来場に制限はなく、多くの方が応援に駆けつけました。

運動会は、開会式の後、ラジオ体操で準備運動を行い、応援合戦で紅組白組を互いに鼓舞しました。その後、短距離走や玉入れ、借り物競争の他、宝拾いなどの来場者参加競技なども行われ、児童や保護者、来場者まで一体となって盛り上がりました。



▲「勝利を引き寄せろ！」(明和小)では、パワーだけでなく作戦も勝敗を分けました



▲「鼓笛パレード」(只見小)では息の合った演奏をしました



▲「朝日よっしゃこい」(朝日小)では、力強いよさこいを披露しました

## 農業の大変さや工夫を学ぶ 町内小学校で田植え体験



▲只見小学校5、6年生(5月16日)

町内3小学校は、町内農家の協力のもと(只見小：新國真也さん、朝日地区：藁谷友活さん、明和地区：馬場由人さん)、田植え体験を行いました。

児童は、田んぼの感触を肌で感じながら、楽しく一生懸命に田植えをしました。

ご協力いただいた農家の方は「手植えするのは大変だったと思います。お米作りの大変さを知ってもらうことで、毎日食べているご飯の有難さを改めて感じてください」と児童に伝えました。



▲朝日小学校5年生(6月1日)



▲明和小学校5、6年生(5月22日)